

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価 計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

1 前年度 評価結果の概要	・学力の向上に関しては、基礎・基本の定着に向けて、何をどのように取り組むべきか再検討する必要がある。また、「考える」「伝え合う」「振り返る」活動のさらなる充実を図っていく。 ・心の教育に関しては、今年度の成果を次年度に引き継ぎ、個に応じた支援や特別な配慮を必要とする生徒への支援の充実につなげていく。 ・健康・体づくりでは、食習慣と生活習慣についての全体指導と個別指導の充実を図っていく。 ・業務改善・教職員の働き方改革については、業務の効率化と時間外在校時間の削減のための職員の意識改革に取り組む必要がある。 ・NIE実践の2年目として、小学校の実践を参考にしながら、取組の充実を図る。また、引き続き小学校との連絡・調整を行いながら、校内研究や交流活動を充実させ、小中一貫教育の推進を図っていく。
------------------	---

2 学校教育目標	賢く 優しく たくましい 生徒の育成 ～地域とともに、9カ年の学びのなかで～
----------	--

3 本年度の重点目標	①確かな学力の育成 ②豊かな心の育成 ③たくましい心身の育成 ④小中一貫教育並びに地域とともにある学校づくりの推進 ⑤働き方改革の推進
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	5 最終評価
---------------	--------

(1)共通評価項目				最終評価				主な担当者 ◎主担当
評価項目	重点取組		具体的取組	最終評価		学校関係者評価		
	取組内容	成果指標 (数値目標)		達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○「吉田メソッド」の実践 ○基礎・基本の定着 ○家庭学習の習慣化	○「吉田メソッド」の流れに沿った授業実践をしている教員80%以上 ○「基礎学力タイム」に意欲的に取り組んでいる生徒80%以上 ○家庭学習を毎日90分以上行っている生徒50%以上	・「授業づくりのチェックシート(学校独自)」を活用した授業実践と改善 ・生徒の実情に応じた「基礎学力タイム」の取組 ・生徒の家庭学習の意欲を高めるための、「家庭学習の指導の手引き(佐賀県教育委員会)」と「吉田小・中学校家庭学習のてびき」の活用		・		・	◎研究主任 学力向上対策コーディネーター
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳や人権学習に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした生徒80%以上	・道徳科の授業の充実 ・ふれあい道徳の実施 ・生徒主体の人権学習の実施 ・生徒主体のいじめに関する人権学習の実施		・		・	◎道徳教育推進教師 人権・同和教育担当 生徒会担当
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○「学校は、いじめがないように温かい雰囲気づくりをしている」という生徒・保護者の肯定的な回答80%以上	・職員会議や職員連絡会等での生徒についての情報共有 ・いじめアンケート(県標準式2回)の実施 ・毎月の教育相談アンケートの活用		・		・	◎生徒指導主事 教育相談担当
●健康・体づくり	●◎児童生徒が夢や目標をもち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と肯定的な回答した生徒90%以上 ●◎「将来の夢や目標を持っている」と肯定的な回答をした生徒80%以上	・「ほめるから、はじめる。はじまる」を意識し、自他を尊重し、支持的風土のある学級・学校づくりの推進 ・自己実現に向けて、職場体験学習の実施やキャリア教育等の充実		・		・	◎進路指導主事 総合的な学習の時間担当 各学年主任・担任
	●「望ましい生活習慣の形成」 ●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	○「睡眠時間は8時間以上とれている」と肯定的な回答をした生徒70%以上 ○朝食を毎日きちんと食べて登校している生徒90%以上 ●「健康に良い食事をしている」生徒90%以上	・毎朝の健康観察で生徒の睡眠時間と朝食喫食状況の把握 ・生徒及び保護者への啓発を目的とした保健だよりの発行 ・給食センター発行の食育だよりの活用		・		・	◎食育担当・保健主事
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・業務に関するデータの共有とICTの効果的な活用 ・定時退勤日の推進 ・部活動休養日の確実な実施 ・部活動終了時刻と生徒の完全下校時刻の見直し		・		・	◎管理職
	○業務の効率化により、生徒と関わる時間の充実	○行事の見直しと実施内容を検討し、生徒と共に活動する時間の創出と充実を図る。	・学校行事の内容(時間)を見直し ・職員朝会を水曜日(市内一斉部活動休養日)の放課後の職員連絡会に変更		・		・	◎教務主任 管理職
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する教員の専門性と意識の向上	○特別支援教育に関する専門性が向上したと肯定的な回答をした教員80%以上	・講師を招聘した校内研修会の実施 ・職員会議や職員連絡会、ケース会議等で配慮や支援を要する生徒の共通理解		・		・	◎特別支援教育コーディネーター

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				最終評価				主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	最終評価		学校関係者評価		
	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○9年間の学びを意識した小学校との一貫教育の充実	○9年間の学びを意識した小学校との一貫教育の充実	○吉田メソッドの授業づくりとNIEの研究・実践 ○交流活動の実施	・毎月の小中連絡会の開催 ・合同研修会の開催 ・小中相互の研究授業への参加 ・交流活動の更なる充実に向けた計画・運営・内容		・		・	◎教務主任・研究主任
○地域とのつながりを大切に、郷土愛を育む「吉田学」等の推進	○地域とのつながりを大切にし、郷土愛を育む「吉田学」等の推進	○「地域学習はふるさと吉田について理解するために役立っている」と肯定的な回答した生徒80%以上	・地域学習の充実 ・地域に貢献する活動の実施 ・地域人材の活用		・		・	ボランティア担当 総合的な学習の時間担当 ◎各学年主任 管理職

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------